
岩美町地域新エネルギービジョン

みんなで協働して取組む

自然と暮らしが共生する

循環型のまちづくり

《概要版》

平成15年2月

鳥 取 県 岩 美 町

ごあいさつ

本町では「第7次岩美町総合計画」において「自然との共生に向けた循環型社会の形成」を基本方針に掲げており、環境への負荷が少ない新エネルギーの導入を図ることはきわめて重要な施策であります。

そこで、地域の特性を活かした新エネルギーの利活用のあり方について協議するとともに、計画的に新エネルギーを導入するための指針として「岩美町地域新エネルギービジョン」を策定しました。

本町は山陰海岸国立公園浦富海岸、岩井温泉などの豊かな自然環境に恵まれており、この自然の中で築きあげたすばらしい文化と伝統があります。

今後は、本ビジョンをもとに、この豊かな自然を守り、持続可能な循環型社会の構築を目指すとともに、新エネルギーの導入を通じて地域の活性化と生活環境の向上を図りたいと考えておりますので、町民の皆さまのご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、本ビジョン策定にあたり、ご指導・ご提言をいただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成 15 年 2 月

岩美町長 榎本武利

目 次

1	新エネルギービジョンとは	1
2	エネルギー消費量	3
3	新エネルギーの利用可能量	4
4	新エネルギービジョンの方向性	5
5	導入プロジェクトについて	7
6	新エネルギービジョンの推進に向けて	9

1 新エネルギービジョンとは

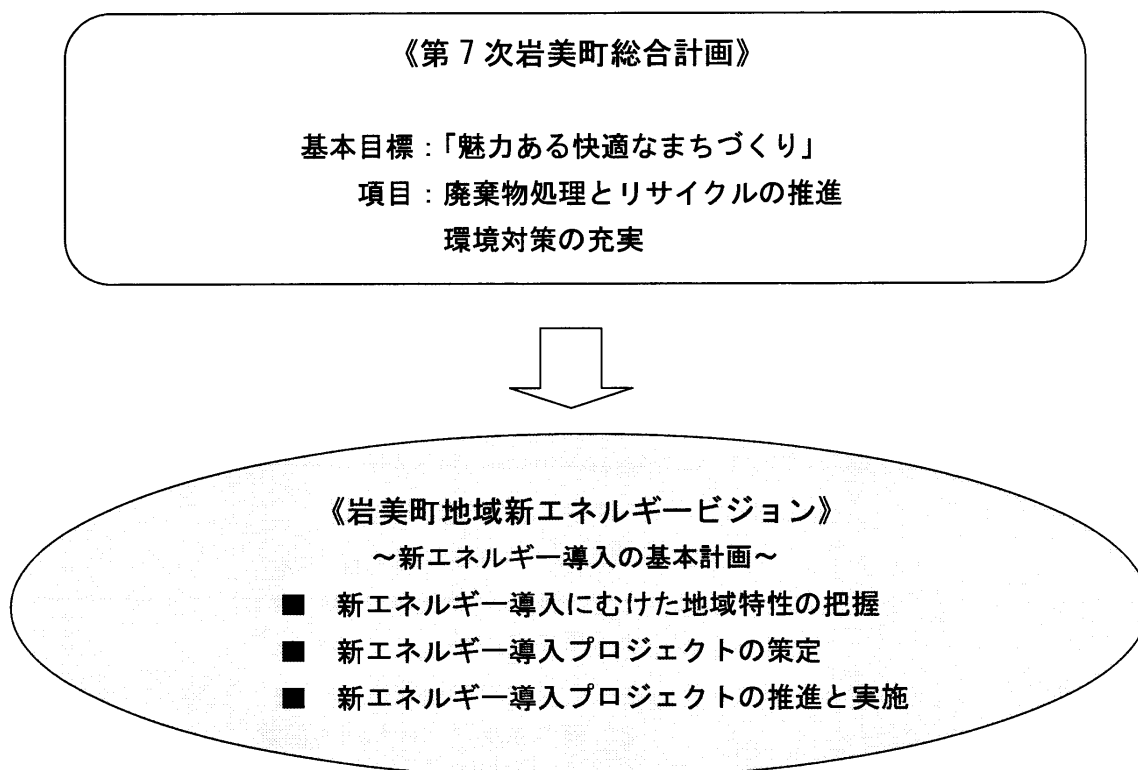
(1) 新エネルギービジョン策定の目的と位置づけ

魅力ある快適なまちづくりを進めていくためには、恵まれた自然環境や地域特性を活かして、太陽エネルギーや風力、廃棄物エネルギーといった新エネルギーを地域で有効に利用することが重要です。

そこで、岩美町で利用可能と推定される太陽光・太陽熱、風力などの新エネルギーについての調査を行い、導入可能な新エネルギーの具体的な導入推進の基本計画として、岩美町地域新エネルギービジョンを策定しました。

ビジョンの策定に際しては、「新エネルギーを軸としたまちづくりによる地域産業の活性化」、「新エネルギーの導入による自然と共生できる町の文化と人づくり」を念頭において、行いました。

■ 新エネルギービジョンの位置づけ



(2) 新エネルギーについて

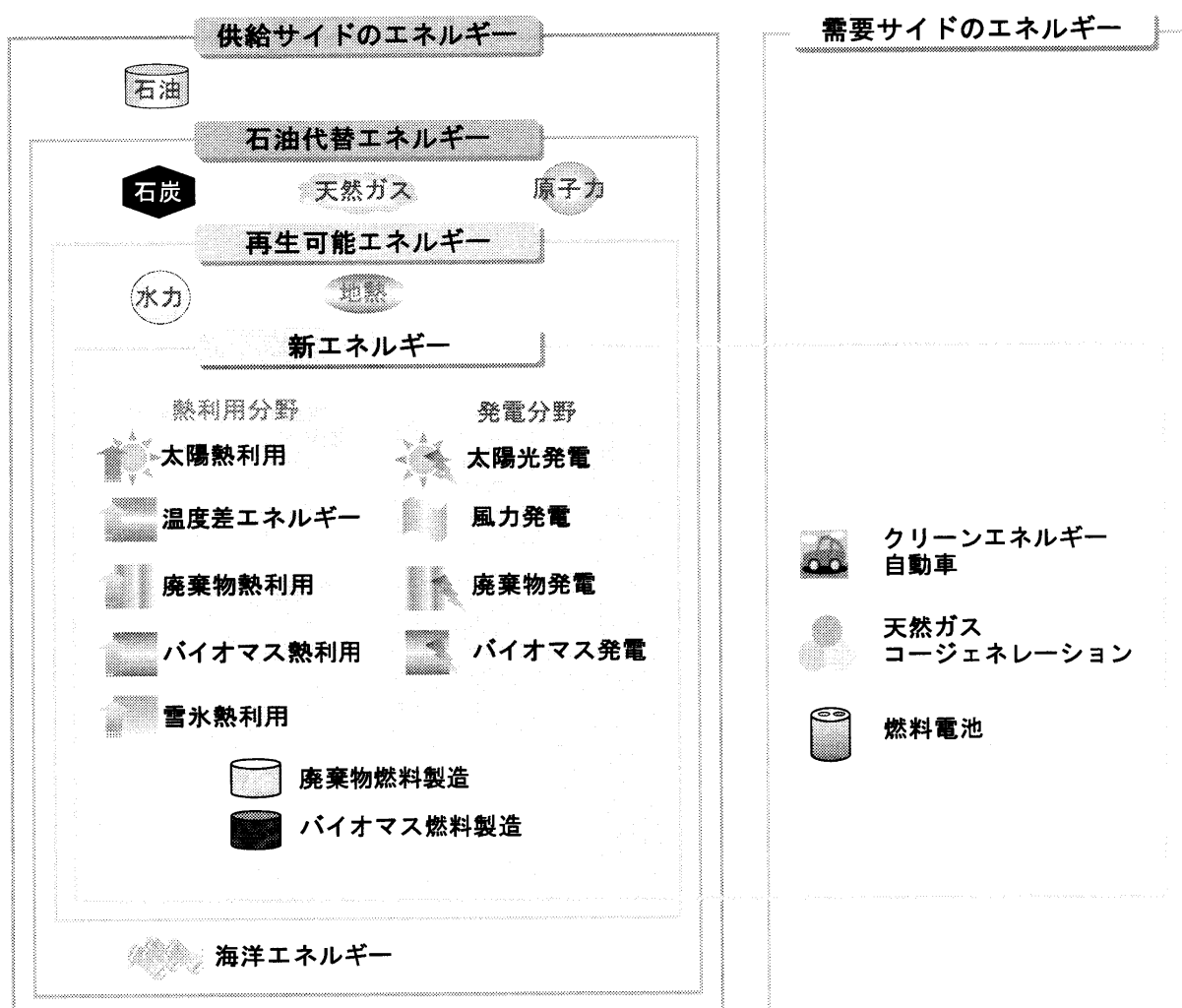
私たちは、今まで石油、石炭、原子力などを用いたエネルギーを使ってきました。これに対して、太陽や風を利用した「自然エネルギー」、廃棄物などを利用した「リサイクルエネルギー」、利用効率を高めた「効率化したエネルギー」、環境との調和を図ったクリーン自動車などのエネルギーがあり、これらを「新エネルギー」といいます。

《新エネルギーの特徴》

- 太陽や風が持つエネルギーは、いくら使っても無くなることはありません。
- 身近にあるが、今まで見過ごしていたり、捨てていた資源を有効に利用できます。
- 炭酸ガスが発生せず、地球温暖化の防止に役立ち、自然環境が守れます。

《新エネルギーの分類》

新エネルギーは、供給サイドと需要サイドのエネルギーに大別されます。

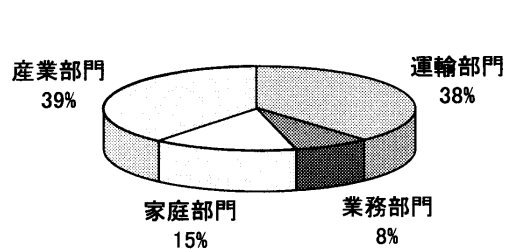


2 エネルギー消費量

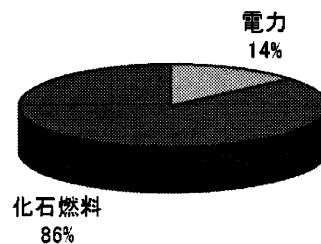
岩美町のエネルギー消費量を、燃料別には電力と化石燃料に分類し、産業、家庭、業務、運輸部門ごとに調査しました。部門別・燃料別のエネルギー消費量は下表の通りです。円グラフで、部門別と燃料別の消費構造を示します。

岩美町における部門別・燃料別エネルギー消費量

部 門	電 力			化石燃料			合 計	
	Mwh/年	%	Gcal/年	kl/年	%	Gcal/年	Gcal/年	%
産業部門	9,190	19	7,904	11,880	42	109,890	117,794	39
家庭部門	24,588	52	21,146	2,717	10	25,132	46,278	15
業務部門	13,883	29	11,940	1,380	5	12,765	24,705	8
運輸部門				12,479	43	115,430	115,430	38
合計	47,661	100	40,990	28,456	100	263,217	304,207	100



部門別エネルギー消費構造



燃料別消費構造

3 新エネルギーの利用可能量

岩美町で利用可能な新エネルギーについて、条件を仮定して利用可能量を算出しました。
新エネルギーの利用可能量と本町における寄与率は、下表の通りです。

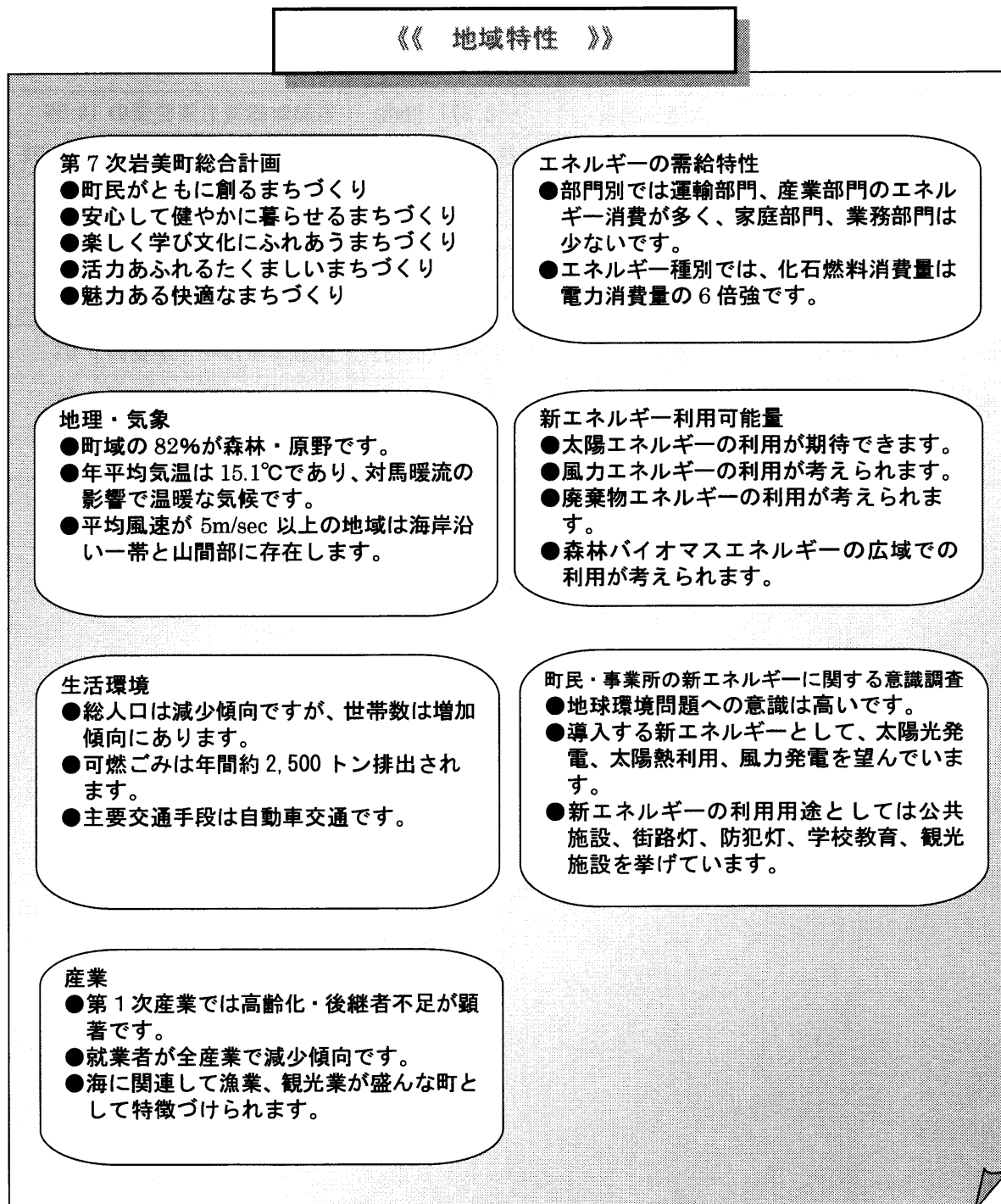
新エネルギー利用可能量と寄与率

新エネルギー	エネルギー 形態	利用可能量	寄与率
太陽エネルギー	太陽光発電	6,877 (Mwh)	岩美町総電力消費量の 14.5%
	太陽熱利用	26,614 (Gcal)	家庭エネルギー消費量の 57.3%
風力エネルギー	風力発電	11,106 (Mwh)	岩美町総電力消費量の 23.0%
地熱エネルギー	熱利用	1,567 (Gcal)	家庭エネルギー消費の 3.4%
小水力エネルギー	小水力発電	397 (Mwh)	岩美町総電力量の 0.8%
バイオマスエネルギー	熱利用	4,144 (Gcal)	家庭エネルギー消費の 9.0%
廃棄物エネルギー	熱利用	1,585 (Gcal)	家庭エネルギー消費の 3.5%
し尿汚泥エネルギー	発電	35 (Mwh)	岩美町総電力消費量の 0.07%

4 新エネルギービジョンの方向性

(1) 地域特性

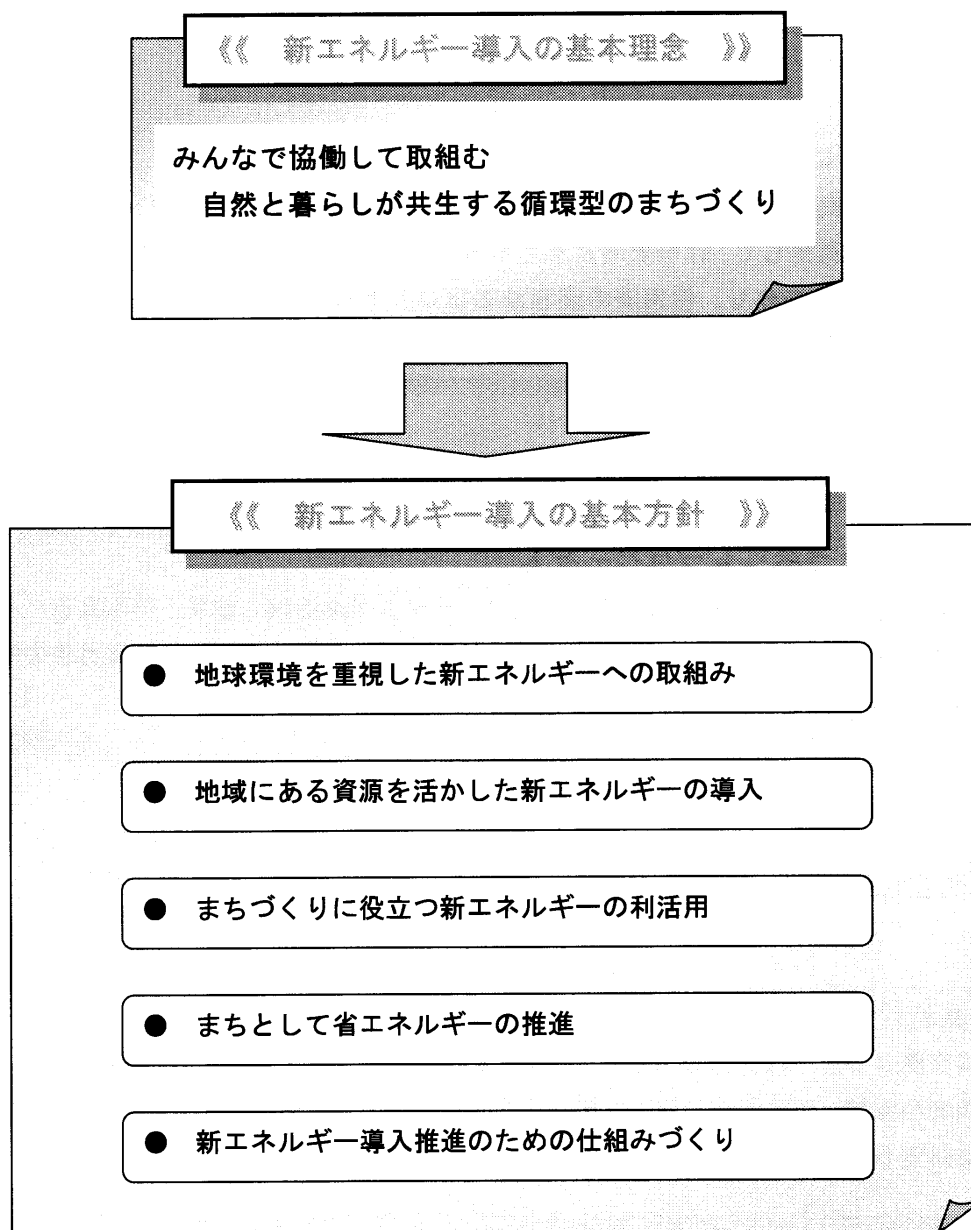
第7次岩美町総合計画ならびに岩美町の地理・気象、生活環境、産業、エネルギーの需給特性、新エネルギー利用可能量、町民・事業所の新エネルギーに関する意識調査から、地域特性をまとめました。



(2) 新エネルギー導入の基本理念と基本方針

岩美町の地域特性を踏まえて、新エネルギー導入への基本的な考え方としての基本理念を以下の通り決めました。

また、この基本理念に基づいて、新エネルギーの導入推進の基本方針を以下の通り決めました。



5 導入プロジェクトについて

新エネルギー導入の基本理念、基本方針を踏まえ、具体的に推進するプロジェクトを8つ選定しました。また、新エネルギーが持つ社会的効果が最大限に活かせ、しかも早期に実現可能な計画を重点プロジェクトと位置づけました。

環境保全対策として取組むプロジェクト

重点プロジェクト

1 岩美エコプロジェクト

家庭・旅館・民宿・給食センター等から出る植物性廃食油をBDF（バイオディーゼル燃料）に再生して、代替燃料とする事業を計画しました。また休耕田に菜の花を植えて食用油を作り、使用済の廃食油もBDFとして再生することに取組みます。

重点プロジェクト

2 バイオガスプラントプロジェクト

生ごみに農業廃棄物、水産廃棄物も含めて、メタン発酵処理します。得られるバイオガスを熱エネルギーならびに電気エネルギーとして回収します。また発酵後の処理液を町内の圃場に有機肥料として還元する事業を検討します。

町が率先して取組むプロジェクト

3 公共施設に新エネルギーの導入を推進するプロジェクト

大岩交流センターに先行導入します。また太陽光発電システムを庁舎、岩美中学校、岩美北小学校、岩美西小学校、岩美南小学校に導入し、太陽熱利用ソーラーシステムを給食センターに導入することを想定しています。

4 街路灯プロジェクト

太陽光発電システムと小型風力発電システムを組合せたハイブリッド型の街路灯を、岩美駅周辺、浦富海岸等に導入することを検討します。

事業として検討するプロジェクト

5 風力発電プロジェクト

網代新港護岸に大型風力発電設備を導入することを検討します。

暮らしに活かすように新エネルギー導入を推進するプロジェクト

6 森林バイオマスの活用を推進するプロジェクト

県内東部地域での広域活用を想定して、森林バイオマスをエネルギー源として還元できる仕組み作りを推進します。

7 家庭での太陽光発電・熱利用の普及促進を図るプロジェクト

一般家庭に太陽光発電システム、太陽熱利用システムの普及促進を図ります。

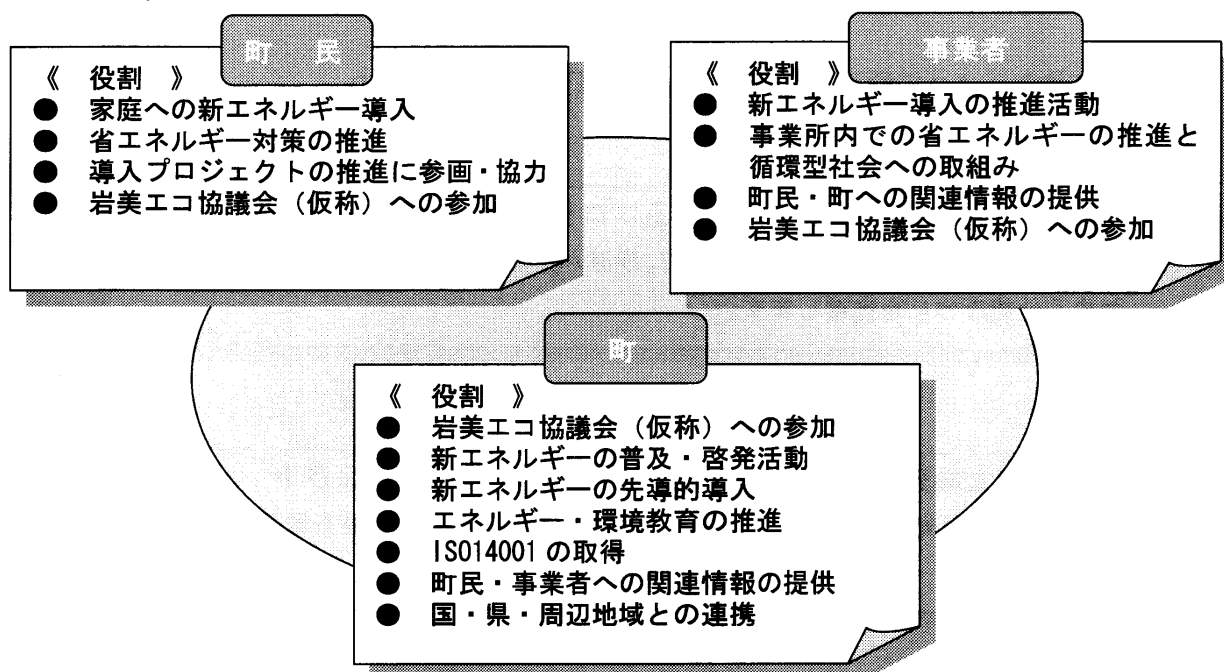
8 クリーンエネルギー車の普及促進を図るプロジェクト

ハイブリッド車、電気自動車の普及促進を図ります。

6 新エネルギービジョンの推進に向けて

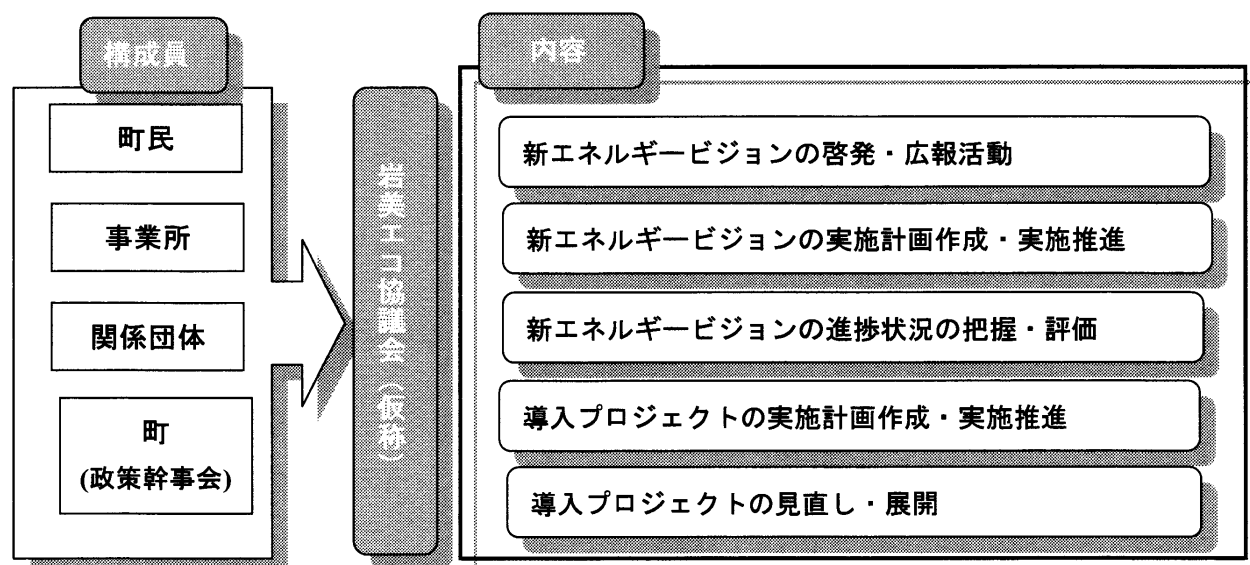
(1) 町民、事業者、町の役割分担

新エネルギー導入を推進していくためには、下図に示すように、町民、事業者、町がそれぞれの立場で役割を分担し、積極的にエネルギー・環境問題とのかかわりを深めていくことが重要です。



(2) 新エネルギービジョンの推進体制

新エネルギービジョンを具体的に推進していくには、町はもとより、町民、事業所、NPO等関係団体の参加と協力が不可欠です。そのためにみんなが参加した「岩美エコ協議会」（仮称）を発足させて、推進体制を作ります。



(3) 岩美エコプロジェクトの推進について

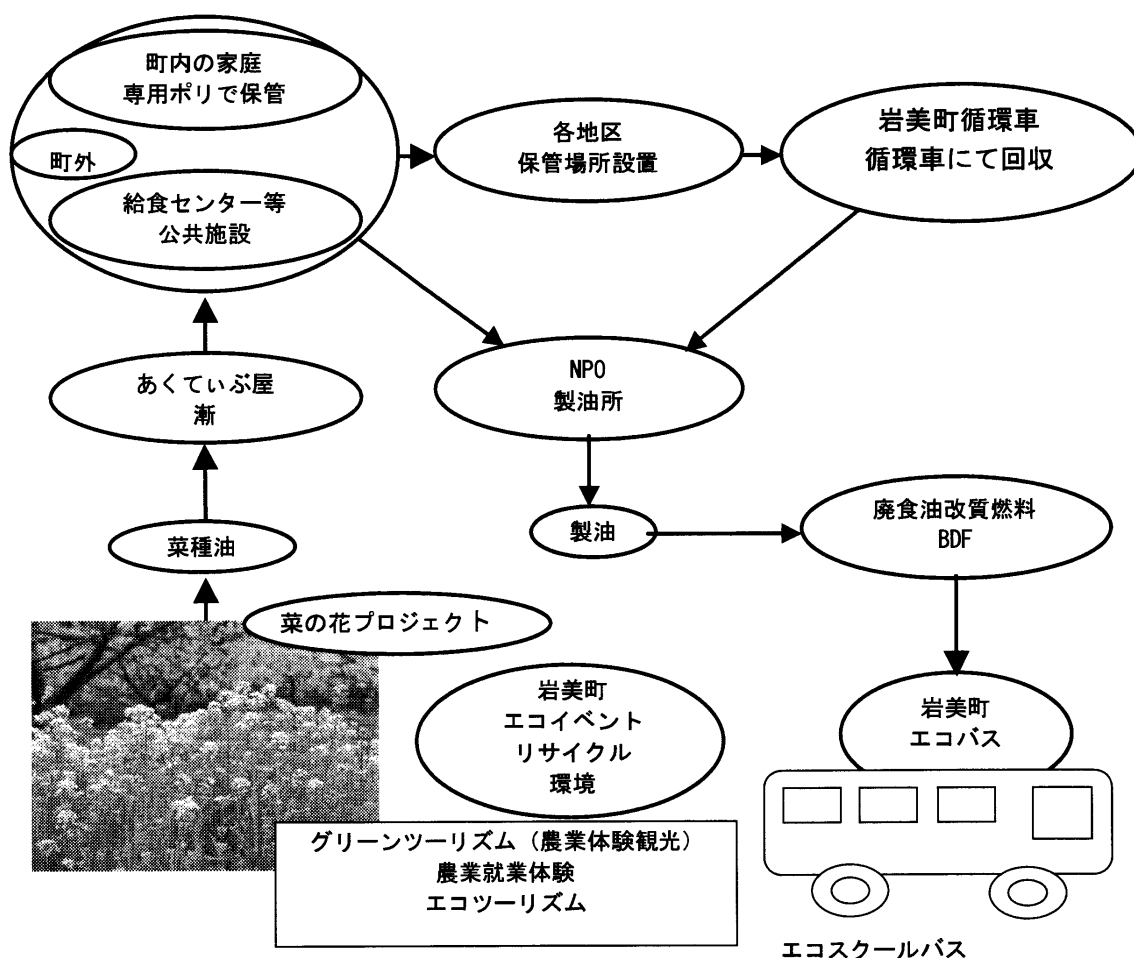
本ビジョンには、町の活性化と地域の環境保全を図るという2つの目的があります。その目的を達成するために、早期に実現可能な本プロジェクトに取り組めます。

一般家庭、旅館・民宿などから出る廃食油をリサイクルする作業は町民の理解と参加を前提としています。まさに新エネルギーを軸とした「自然と共生できる町の文化と人づくり」そのものです。

本プロジェクトは小さな第一歩ですが、推進による効果として、以下のことが考えられます。

- 町民の参画により、エネルギー・環境に対する意識が高まります。
- エコスクールバス、農業体験を通して、子供たちの環境教育に役立てます。
- 蒲生川などの水質が良くなり、良好な漁場が維持されます。
- エコマネー（地域通貨）を発行して、町内で流通させます。
- 菜の花から菜種油を作り、販売します。
- グリーンツーリズム、エコツーリズムなど観光資源に利用できます。

■ 岩美エコプロジェクトの構想図



岩美町地域新エネルギービジョン報告書（概要版）

発 行 日 2003 年 2 月

発 行 者 鳥取県岩美町役場 企画観光課

印 刷 中央印刷株式会社

鳥取市南栄町 34 番地

電話（0857）53-2221